

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名	教育部 教育総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 4 子どもが健やかに育つまちに
 重点的取組 2 確かな学力を身につけ、社会をたくましく生きる子どもを育てる

事業名	教育一般事務事業	事業開始年度	平成 24 年度
	学校の規模適正化の推進、佐伯高等学校活性化支援	根拠法令 条例 個別計画等	学校教育法施行規則 廿日市市教育振興計画 今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画 (県教委)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	<ul style="list-style-type: none"> 閉校となった学校に通学していた児童 閉校となった学校施設を利用する市民 佐伯高等学校及び地元中学生 	<ul style="list-style-type: none"> 統合によって4月から新たな学校に遠距離通学する児童が安全に登下校するため、一定期間通学支援員を配置する。 閉校となった学校施設を地域活動等に継続して利用できるように、安全性の観点から、校舎を封鎖し遊具を撤去する。 地元の中学生の進路選択の幅を狭めないように佐伯高校の存続及び活性化を図るため、必要な支援を行う。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
<ul style="list-style-type: none"> 市 佐伯高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な通学のための通学支援員配置 学校跡地の暫定的な維持管理 佐伯高等学校活性化地域協議会への参画 	P T A、地元住民、佐伯高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動 跡地利用に係る協議 校内での活性化策の検討・推進

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	◎事業概要						
	<ul style="list-style-type: none"> 津田地区に、登下校の時間に合わせて一定期間通学支援員を配置した。 閉校となった学校施設を地域活動等に継続して利用できるように、安全性の観点から、遊具を撤去した。 佐伯高校ホームページへの技術的支援及び県外からの意欲をもった生徒の受け入れ支援を行った。 						
	【歳入】						
	県補助金（小中学校教育環境充実支援事業補助金） 補助率 1 / 2 以内 遊具撤去費補助：614,000円						
	遠距離通学に伴う交通安全支援員配置				H27決算額		
	職員賃金等	通学支援員賃金等			95,069円		
	旧学校施設の遊具撤去等				H27決算額		
	消耗品費	体育館に移設するAEDパッド交換（玖島・浅原）			66,960円		
	工事請負費	旧学校施設の遊具撤去			1,347,840円		
	広島県立佐伯高等学校の活性化に係る支援				H27決算額		
補助金	佐伯高等学校生徒下宿整備補助			401,000円			
	佐伯高等学校ホームページ更新補助			500,000円			
教育振興基本計画策定				H27決算額			
報償費	教育振興基本計画策定オブザーバー報償費等			55,160円			
コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越	
	財源内訳	直接事業費 A	1,693,830	2,466,029			
		国庫支出金					
		県支出金	153,000	614,000			
		借入金（市債）					
		その他(使用料など)					
		市（市税など）	1,540,830	1,852,029			
		人件費(按分) B	2.50 人 21,435,000	0.20 人 1,691,600			
		総事業費(A+B)	23,128,830	4,157,629			
	単位 ト換算 コスト	① 人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人			
② 市民1人当たり		197	35				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動						
	成果	佐伯高校新年度入学生徒数	人	27	27	26	